

# 専大スポーツ

No. 2022

大会結果、予定は体育会ホームページ(専大ホームページ「スポーツ」からログイン)でご確認ください  
専大スポーツweb (http://sensupo.web.fc2.com/) でも大会結果を配信しています

## アーチェリー・全日本学生王座決定戦

# 初のベスト8入り

## 健闘も全日本の「壁」実感



リラックスした表情を見せる部員  
戦。初回リ

全日本学生アーチェリー1王座決定戦が6月26、27の両日、静岡県・つま恋多目的広場で行われ、予選で5位となり、迎えた決勝ラウンドは清野将太郎(文)4・青森東高(経営3・馬高)、星達也(経営3・馬高)、加藤神奈川大学附属高(3選)の3選手が全国の壁に挑んだ。1回戦では愛知学院大と対戦。初回リ

ドを許すも、その後は着実に点を重ねて逆転勝利。続く2回戦では、序盤の出遅れが響き、巻き返しを図ったが、関西大に196-206で敗れ、涙をのんだ。  
今大会で特に成績が良かったのは、大学入学後から競技を始めた加藤だった。清野将太郎は「自分の星の調子が良くなかったが、加藤が頑張ってくれた」と話した。また、立ち上がりの悪さとメンタル面の問題を挙げ、「改善していきたい」と次戦への意気込みを語った。(土屋)

関東大学サッカーリーグ戦(2部)は6月19日に第11節が各地で行われ、前期日程が終了した。首位タインの原動力はリーグ随一の破壊力を誇るアタッカー陣で、総得点32は断トツの数字。中でも、タイプの異なる2人のストライカーが輝きを放った。

持ち味である細かいパス交換を中心に、クオリアティーの高さを証明した。首位タインの原動力はリーグ随一の破壊力を誇るアタッカー陣で、総得点32は断トツの数字。中でも、タイプの異なる2人のストライカーが輝きを放った。

左ウイングの高山薫(経営4・生田東高)は快足を生かしたプレーが持ち味で、相手DFの背後を突く動きで、チャンスを演出。ドリブルから果敢にシュートを打つ姿勢も魅力で、得点ランクトップタイの7得点を記録した。

センターフォワードの山崎翔輝(経営2・川崎北高)はプレートの時を迎えた。今季途中からスタメンを勝ち取ると、高山と並ぶ7得点を挙げるなど、ポテンシャルを發揮。強じんなポストプレーも武器で、前線のターゲットマンとして今やチームに欠かせない存在だ。

選手の質・層を考えれば「優勝して1部復帰」という目標は難しくない。それでも源平貴久監督は「もっと点を取れるようにゴールへの意識を高めたい」と、現状にお



▲ 得点王を狙う高山

大用(右)3位決定の瞬間  
(全日本ジュニア・チーム馬術監督氏撮影)



レスリングのアジア・ジュニア選手権が6月10日から13日まで、中国・黄山で行われた。フリー50kg級の竹田展大(経済3・三井高)とグレコ55kg級の太田真郷(経済3・関宿高)がそれぞれ3位に入賞という好成績を残した。

2人が口をそろえて話したのは海外選手の力強さ。パワーの差と同様に、プレースタイルも各々で異なっていたという。大用は「楽しかった。3位決定戦は積極的に出ていき、スタンドの攻防でポイントを奪うことができた」と話した。3位決定戦で辛くも勝利を収めた竹田は、「スタミナやスピードで勝負したが、体重やパワーが足りないことを実感した。これか

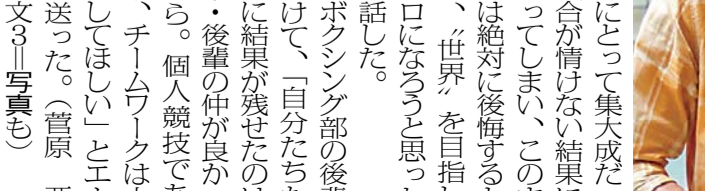
現在選手たちは、秋に大阪で行われる全日本学生選手権に照準を合わせている。国際的な大会での経験を糧とし、さらなる高みを目指してほしい。(土屋 杏有美・文2)

銅メダルを獲得した竹田(左)と大用

馬術・関東学生争覇戦が6月12、13の両日、JRA馬事公苑で行われた。結果は団体3位で、昨年の7位から大きく順位を上げた。  
この大会は1931年から開催され、学生馬術界の中でも歴史と伝統を誇る権威ある大会。1回

戦は強豪・日大に3-2で勝利。昨年の同大会1回戦で対戦し、0-5と惨敗を喫した相手だけに幸先のいい滑り出しを見せた。2回戦で優勝候補の明大に2-3で敗れたが、続く東農大との3位決定戦を3-1で制した。

鶴林舞(商4・前)有梨・文3(写真も)



▲ 銅メダルを獲得した竹田(左)と大用

# レスリング アジア・ジュニア選手権

# 竹田・大用が堂々の3位

レスリングのアジア・ジュニア選手権が6月10日から13日まで、中国・黄山で行われた。フリー50kg級の竹田展大(経済3・三井高)とグレコ55kg級の太田真郷(経済3・関宿高)がそれぞれ3位に入賞という好成績を残した。

# レスリング・東日本春季新人戦 荻原、中村、馬場

# 3人が優勝

東日本学生春季新人戦の荻原健汰(経営2・沼津城北高)、フリー60kg級の中村裕貴(商2・宮古商高)、フリー96kg級の馬場貴大(経営1・島原高)がそれぞれ優勝した。

また、6月24日から27日まで、JRA馬事公苑で行われた関東学生馬術三大大会は障害飛越競技で4位、馬場馬術競技で3位となり、3種目総合で3位となった。(高田)

# ボクシング部OB山中さん 日本バンタム級タイトル獲得 世界ランク入りも確実



▲ チャンピオンベルトを肩にファイティングポーズをとる山中さん(生田キャンパス)

# 団体3位と健闘

## 昨年の7位から躍進

鶴林舞(商4・前)有梨・文3(写真も)

6月20日、大阪市住吉区民センターで行われたボクシングの日本バンタム級タイトルマッチでボクシング部OBの山中慎介さん(平17商)が7回TKOで勝利。6試合連続となるKO勝利で新王者に輝いた。

山中さんは通算12勝(8KO)2分の無敗で、圧倒的強さを見せている。この試合ではWB C世界同級7位の相手を倒し、世界ランク入りも確実だ。初のタイトルについて「勝って当たり前だ。試合とわかれていたの試合と違って、このままでは絶対に後悔すると思

倒し、世界ランク入りも確実だ。初のタイトルについて「勝って当たり前だ。試合とわかれていたの試合と違って、このままでは絶対に後悔すると思